



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

92

2015年1月21日発行
(平成27年)

●あなたと議会のかけ橋に



苓北町成人式

(H27.1.4 志岐集会所)

町花「はまゆう」



【主な内容】

- 議長挨拶 2
- 定例会 3～4
- 意見書 5
- 陳情・研修会 6
- 一般質問 7～12
- 傍聴記・関東ふるさと苓北会 13

※として保存しましょう。

議会の主な動き

平成26年10月～平成27年1月

10月

- 14日(火) 天草広域連合議会視察研修
～17日(金) (岩手県宮古市、福島県南相馬市)
- 19日(日) 県際地区バレーボール大会
(牛深総合体育館)
- 30日(木) 県町村議会議長会第3回臨時理事会

11月

- 6日(木) 地域高規格道路整備促進要望(県庁)
県議会議員研修(益城町文化会館)
- 12日(水) 第58回町村議長全国大会(NHKホール)
- 19日(水) 県議会議長会広報研修(メルパルク熊本)
- 23日(日) 関東ふるさと苓北会(東京)

12月

- 1日(月) 第4回天草広域連合議会定例会
- 4日(木) 第30回議会定例会(初日)
合同常任委員会町内視察
- 5日(金) 第30回議会定例会(最終日)
全員協議会
- 16日(火) 天草広域連合議会運営委員会
- 22日(月) 天草広域連合臨時会
- 25日(木) 県町村議会議長会理事会(自治会館)

1月

- 4日(日) 消防出初式
- ” 成人式

議会広報特別委員会 12月5日・15日・19日・26日・1月6日

議事録は『苓北町役場ホームページ』

http://www.reihoku-kumamoto.jp/outline/gikai_v1.htm

で閲覧できます。

次の定例会は
3月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。

(12月定例会の傍聴者は54人でした。)

臨時会は不定期に開かれます。



最盛期のレタス



昨年暮れの衆議院解散・総選挙から今年の年明けの苓北町町長・議会議員選挙が執行され、国も苓北町も新しい体制での年明けとなりました。私たち広報委員会は、議会活動と行政との関わりを、町民の皆さんにお伝えすることが使命であり、多くの皆さんに愛読していただくことが目的です。

詳しい報道を求めるあまり文章が多くなり読みづらいとの意見や、広報研修会での指摘もあります。今後は研修等の成果を発揮し、町民の皆さんに読んで貰える広報紙を目指していきたいと思っております。紙面づくりに対する皆さんの意見をお寄せください。

議会広報特別委員会

編集後記

新年に寄せて

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素より皆さま方には町議会に対し、ご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年十二月「アベノミクス解散」と称した、衆議院議員選挙の結果、自民党など与党が圧勝しましたが、地方では「アベノミクス効果」は未だみられず、厳しい状況に変わりはありません。また、投票率が戦後最低だった前回を、さらに下回り五二・六六％が何を示すのか懸念されます。

ところで、我が国は人口減少と少子高齢化に伴い、地方と都市の過疎過密が一段と進み、国立社会保障・人口問題研究所の発表では、人口減少により二〇四〇年（平成五十二年）には、八九六市町村が消滅する可能性があると言われており、天草地域も例外ではありません。

これは、全国市町村の半数近くであり、やがて地方から都市への流動人口も減少し、将来大都市圏でも人口減少が起ると予想され、政府も国家的危機として近年対応に追われていますが、何とか頑張っていかなければなりません。

去る九月、ユネスコの世界文化遺産へ推薦された「長崎教会群と

キリスト教関連遺産それと天草市河浦町崎津集落」が、本登録に向け大きく前進しました。

また、八月には天草地域全体が「大地の公園」として、日本ジオパークに認定されるなど、天草周辺に明るい話題も出てきました。そのような中、苓北町では今、富岡城二の丸広場に歴史資料館建設をはじめ、その近くに江戸時代キリシタン弾圧に屈せず信念を貫いた「アダム荒川」公園。それに百間土手・大手門も整備中であり、併せて志岐城址公園整備など、新たな観光基盤ができつつあります。これらの歴史的資源などを活かし、さらには近隣各県と連携を深め、交流人口拡大を図るには、交通基盤の整備促進が極めて重要であり、早期完成に向け新たな行動を展開する必要があります。

併せて、当町の重要課題である「雇用創出」に全力を傾注し、併せて農林水産業をはじめ、地場産業の振興・教育・高齢者・子育て支援など、住民福祉向上をさらに推進していかなければなりません。今年も、町議会及び広報「きずな」をよろしく願います。

結びに、皆さま方の益々のご繁栄と、苓北町のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦



苓北町議会 議長

倉田 明



第30回定例会

12月5日(金)(2日目)

報告第49号

● 例月現金出納検査の結果報告について（平成26年度8月分・9月分・10月分）

報告第50号

● 定期監査の結果報告

報告第51号

● 所管事務の調査（合同常任委員会町内視察）結果報告
◎ 三常任委員会合同調査報告

1、調査事件名

平成26年度各事業の進捗状況についての現地調査

2、調査の経過

①調査期日



苓北町温泉センター法面復旧工事



富岡城二の丸長屋（資料館）整備工事



富岡城百間土手（築地塀）整備工事

②調査場所

○ 苓北町拠点避難地造成工事（1工区・2工区）

○ 苓北町体育センター耐震化工事

○ 苓北町温泉センター法面復旧工事

○ 富岡城百間土手（築地塀）整備工事

○ 富岡城二の丸長屋・角櫓整備工事

○ 富岡城出丸築地塀整備工事

○ アダム荒川の記念広場整備工事

③出席委員

全委員（12人）

④委員会書記 山口局長

3、調査の概要等

各工事現場では、担当課

4、意見・要望事項

①温泉センターの法面復旧工事に関しては、利用者が不便を来している。早期に湧水原因を究明し復旧をお願いする。

長及び担当者から工事の進捗状況等の説明を受けた。各委員から工期内完成等の質問があった。

- ② アダム荒川公園整備に関連して、私有地土建物建物を町で取得され、休憩所等として利用・管理されたい。
- ③ 高齢者等が歴史資料館まで行けるようにするため、出丸広場を駐車場として利用できるようにされたい。
- ④ 百間土手の築地塀整備については、道路面からの高さを基準として整備すべきであった。

承認第49号（原案可決）

● 専決処分の承認について
平成26年度一般会計補正予算（第4号）
568万円追加し、総額55億825万6千円とする。

◎主なもの

衆議院議員選挙費

議案第324号（原案可決）

● 公告式条例の一部を改正する条例について
関連法令の改正に伴う条例改正のため

議案第327号（原案可決）

● 国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
出産一時金等の見直しに伴う関係政令等の改正により改正する必要があるため

議案第328号（原案可決）

● 子育て支援医療費補助に関する条例の一部を改正する条例について
子育て支援拡充のため、医療費の全額補助を中学3年生までに拡大する

議案第325号（原案可決）

「農協改革」に関する意見書

平成 26 年 6 月 24 日に改訂された「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、政府は、農業の成長産業化に向けて「農業改革」の推進を行っていくことを決定した。

具体的には、J A の事業や組織運営のあり方、J A ・連合会等の組織形態の見直し、中央会の新たな制度への移行等、幅広い提言がなされており、これらの内容を具現化するための法律改正等が、来年の通常国会で行われる予定となっている。

本町は、これまで J A と密接に連携しながら、農地利用集積・新規就農支援・健康福祉活動等を通じた農業振興・地域社会振興に取り組んできており、今後もこの関係を継続していく必要があると認識している。

しかしながら、「農協改革」に関する今後の政府のとりまとめ如何では、J A の組織・事業機能が低下し、これまで連携して取り組んできた活動が困難になり、ひいては農業者、地域住民、地域社会に対しても多大な影響が出ることが懸念される。

よって、国におかれては、次期通常国会で審議される予定となっている「農協改革」については、J A グループの自己改革内容を十分尊重した上で、下記の事項の実現に対応していくよう強く求める。

記

1. 総合事業による J A 事業の展開について

J A の役割は「農業振興」と「地域振興」に寄与することであり、この役割を果たしていくためには、総合事業（営農経済・信用・共済・生活・福祉等）による多様なサービスの提供が不可欠であることから、今後も J A の協同組合としての事業・組織を制約する一方的な事業方式・ガバナンス制度・法人形態の転換等は、強制しないこと。

2. 准組合員の事業利用・J A 運営参画の促進について

准組合員は、農業や地域経済の発展をともに支えるパートナーであり、人口減少への対応や雇用の創出など「地方創生の推進」「地域のライフライン維持」を今後図っていくためには、准組合員の事業利用・J A 運営参画の促進を図る必要があることから、准組合員に対する事業利用の制限等は行わないこと。

3. 農協法上の「新たな中央会制度」位置づけの明確化について

「新たな中央会制度」は、J A の経営課題解決や積極的な事業展開への支援を目的とする自律的な制度に転換し、その機能を代表機能、総合調整機能、経営相談・監査機能に集約・重点化していくが、これらの機能を十分に発揮するためには、農協法に規定された上での制度維持が必要であることから、「新たな中央会制度」も引き続き農協法上に位置づけられた組織とすること。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成 26 年 12 月 5 日

梔北町議議会 議長 倉 田 明

衆 議 院 議 長 伊 吹 文 明 殿
参 議 院 議 長 山 崎 正 昭 殿
内 閣 総 理 大 臣 安 倍 晋 三 殿
農 林 水 産 大 臣 西 川 公 也 殿
内閣府特命担当大臣（規制改革） 有 村 治 子 殿
内 閣 官 房 長 官 菅 義 偉 殿

議案第329号(原案可決) ● 学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例について 町内中学校の統合に伴い条例改正する必要があるため	議案第330号(原案可決) ● 一般会計補正予算(第5号) 7,381万3千円を減額し、54億3,444万3千円とする ◎ 主なもの 歳入 国庫支出金・町債の減額 歳出 町税の増額 災害復旧費の減額 民生費増額	議案第331号(原案可決) ● 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 70万7千円を追加し、12億321万6千円とする ◎ 主なもの 歳入 国・県支出金の増額 歳出 総務費の増額	議案第332号(原案可決) ● 介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳出 一般管理費と公債費の組替え	議案第333号(原案可決) ● 水道特別会計補正予算(第3号) 歳出予算を補正し、2億8,710万4千円とする ◎ 主なもの 歳出 一般管理費の組替え	議案第334号(原案可決) ● 下水道特別会計補正予算(第2号) 歳出予算を補正し、3億4,246万8千円とする ◎ 主なもの 歳出 一般管理費の組替え	議案第335号(原案可決) ● 特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号) 歳出予算を補正し、5,080万4千円とする ◎ 主なもの 歳出 一般管理費と公債費の組替え	議案第336号(原案可決) ● 請負契約「梔北町役場庁舎空調設備改修工事」の変更締結について 契約の方法 指名競争入札 契約金額 当初 6,102万円 変更 270万9,799円 変更後 6,372万円 契約の相手方 (株)熊電施設 内 容 空調制御デマンドアダプタ取付け他	議案第337号(原案可決) ● 請負契約「梔北町体育センター耐震化工事」の変更締結について 契約の方法 指名競争入札 契約金額 当初 5,870万円 変更 269万9,705円 変更後 6,140万円 契約の相手方 (株)横山建設 内 容 雨樋取換・足場代他	議案第338号(原案可決) ● 請負契約「町道赤仁田線災害復旧工事」の締結について 契約の方法 指名競争入札 契約金額 6,726万2,400円 契約の相手方 前川建設(株)	議案第339号(原案可決) ● 梔北町老人福祉センターの指定管理者の指定について 指定管理者となる団体 梔北町農業協同組合 指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日	議案第340号(原案可決) ● 梔北町斎場の指定管理者の指定について 指定管理者となる団体 梔北町農業協同組合 指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日	議案第341号(原案可決) ● 梔北町温泉センター及び温泉自動販売機の指定管理者の指定について 指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日	議案第342号(原案可決) ● 梔北町民総合センター等の指定管理者の指定について 指定管理者となる団体 (株)サンクリーンドリーム 指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日	諮問 第4号(同意) ● 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員 氏名 濱崎 幸枝 さん 住所 梔北町富岡	諮問 第7号(採択) ● 「農協改革」に関する請願書	発議 第16号 ● 「農協改革」に関する意見書の提出について（意見書は後記のとおり）	指定管理者となる団体 長井商事(株) 指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日
--	--	---	--	---	--	---	--	--	---	---	---	--	---	--	-------------------------------	---	--

一 27年度予算の策定

(一) 26年度事業の検証

1 志岐中央線の、舗装及び側溝改修事業

問 高齢者の押し車、歩行の安全に効果有り。町並みの景観も良好。しかし、側溝は溢れた水が住宅地に流入、改良後も効果はない。

町長 7月の大雨により天神木、馬場の一部民家が床下浸水。県道の排水を一部中通橋へ誘導する止水板を設置した。

(二) 日常生活を守る為の対策

問 次の項目について、町の基本目標を達成する為に、新年度予算に配慮すべき。

1 道路の維持管理等

(一) 外灯の設置とLED化

安全確保の為、外灯設置に重点的配分を。外灯の敷設替えを提案。LED化を強化したいとの回答だった。今後の取組は。

町長 参考。LED外灯は二酸化炭素抑制、省エネ、電気料削減。千377個所の内64か所取換えた。補助事業の活用が出来れば積極的に。

(二) 里道の実態把握と管理



浜口雅英 議員

問 国の所有物で、町の適切な管理が必要。現状把握し本来の用に供すべき。

町長 航空写真と地籍図での使用状況の調査を実施。

(三) ガードレールの設置

問 住宅団地を見下ろす形であり終点側は、幅員も狭くカーブも急、路側は急峻、交通の安全の為に安全柵が必要。

町長 区長と確認する。

(四) 町道等への支障木除去

問 通行の支障、災害時の電話、電気等の供給に影響あり。外灯にも覆いかぶさり、安全安心のまちづくりの阻害要件。これ迄以上の効果的な配分を検討。

町長 町道の未舗装対策

(五) 町道の未舗装対策

問 全線未舗装、一部未舗装の路線数は。交通の安全から早急な対策を。町道等に係る橋梁の路面コンクリートが劣化し降雨により水が浸透し鉄筋の酸化等橋台へ悪い影響を及ぼす。

町長 全線未舗装は10路線。一部未舗装は75路線。橋梁の路面舗装は、緊急度に応じ実施。

(六) 小規模路側等崩壊個所の修繕

問 大雨、イノシシによる路側等の崩壊が随所にみられる。大きな事故、崩壊の前に予算措置を。

町長 行政通信、道路パトロール等により該当箇所を把握し対応する。

(七) 町道側溝の管理

問 豪雨によって、側溝がふれ当該区域の民家等に流入している。側溝、水路の底に土砂が堆積している等管理が不十分では。道路側溝等の現況調査を。

町長 山間部の町道、県道等の側溝及び溜樹について区長さんと連携し把握に努める。

(八) 有害鳥獣の撲滅

問 イノシシは、農業振興の大きな障害。撃退防除から、『殺』処分に方向転換すべき。イノシシ等狩猟肉ジビエを地域特産料理として提案。何かの動きは。

町長 殺す処分は考えてない。肉の特産品化は需要を見て。

(九) スクールバスの活用と在宅老人移送サービス

問 中学校統合後のスクールのバス巡回運行を計画とのこと。これまでの運行コースの見直し結果は。在宅老人移送サービスも計画を検討することだった。

町長 役場を発着地として見直した。在宅移送サービスは、対象者の見直しを行っている。

(十) 空家、空き地の管理

問 空家調査の取り組み状況と調査終了後の空き家対策は。解家跡等の空き地が見受けられる。防犯上対策が必要。

町長 空き家は、今後所有者等所有者へ適正管理を要請。空家、空き地共、対策措置法により改善命令を出す。

(三) 防災対策

(一) 危険個所指定区域の対応

問 石垣が崩れかかっていると連絡すると状況把握には来るが、その後の連絡はない。当該住民の不安払拭の為、懇切丁寧な説明と対応が求められる。

町長 以前の経緯を確認し、適切な対応を図りたい。

(二) 工事残土の処理

問 公共工事に係る残土処理は。

町長 受け入れの時期、土質等の調整がつけば工事中間流行。

(三) 内田、白木尾海岸の対策

問 農地の崩壊が止まらない状況具体的な対策は。当該個所の堤防の高さに、1m余りの違いがあるが、何の為、どの様な理由。

町長 堤防の高さの差は、海岸の背後に人家があるか等の条件により算出した結果。

(四) 景観環境の保全

1 造成地の側壁

問 ACⅡを使用した土地造成は景観上優れているという説明。しかし、防災ゾーン造成工事はコンクリート壁面が。宅地造成地、津波一時避難所、坂瀬川グラウンド横もむき出し。景観の保全になっていない。

町長 防災ゾーンは植栽を進めていく。財の尾は雑草処理。その他施設は、住民の皆様で景観環境維持管理の話し合いを。

(五) 統合後の学校施設の利活用

問 安全な子育て環境の整備のため、児童館的な利活用は。町内外で起業の希望者へ貸与は。

町長 町の将来像、政策を見据え利用の方向、活用策を出す。

(六) IT化の成果と活用

問 光ファイバー等IT化の目的と計画に対する達成度合と今後の活用。要した事業費の額は。整備率は全国比でどの位置か。

町長 22年度までに光ファイバー整備。23年4月からI-P告知端末のサービス。事業費は総額約9億8千万円。整備率は100%で最上位。

(七) 地方創生の取り組み

問 国は人口減少、景気刺激策として、地方創生に取り組んでいる。町はどの様に取り組むのか。

町長 安定感のある職場の創出、漁業後継者の育成、子育て支援のためマグロの養殖業者と交渉中。志岐城から富岡城迄の史跡復元。富岡港の整備。

二 財政状況報道への対応

(一) 報道への対応

問 先般、県内市町村の決算の状況が報道。町民の中には今後の財政運営を危惧。町の見解を町民に知らせる必要はないのか。

町長 広報はいくく四月号、十月号で詳しく知らせている。

三 川内原発の再開

(一) 安全対策

問 川内原子力発電所は年明けにも再稼働の報道も。万一事故が発生した場合、放射能や汚染水が茶北町へ。被害想定は。

町長 正確な情報入手し、熊本県等とも連携を図り避難体制を整えたい。

“厳しい状況”として指摘された、茶北町の財政運営について

◎県下でワースト1！町の借金は町民1人当たり70万！

- ①健全化に向けての取り組みは？
②今後も起債(借金)で避難地を整備するのか？



野崎幸洋 議員

問 平成25年度の決算審査に係る監査委員意見書では、「起債が増えたことで公債費の増大が予想される。財政健全化の面から事業の圧縮や実施年度を分散し、引き続き健全財政を目指す」と。弾力性の確保については、平成25年度92・6%となり前年度から2・8%も増えている。その要因は、天草広域連合への負担金が増えたことや、長崎航路維持のための船舶購入補助等によるものである。数値から見れば、本町の財政の硬直化は否めない状況にあると思われる。

公債費においては、平成32年度をピークに起債の償還額が増える見込みであり、今後しばらくは経常収支比率の改善は難しい状況にあると思われる。計画性、弾力性、積極性の3つの観点から総合的に見て予断を許さない厳しい状況といえよう。」

との意見書が、本年9月定例会に提出された。

また、今年10月の新聞に、平成25年度の県内45市町村の決算状況が発表され、茶北町は経常収支比率と将来負担比率が高く(財政に弾力性がなく自由に使える予算が少なく)特に、注目すべきは地方債残高の合計を住民数で割った一人当たりの「借金」が、積立金残高を割った「貯金」よりも多く、町民一人当たり70万2千円もあり、熊本県の市町村の中で、ワースト1という非常に厳しい本町の収支決算状況が掲載された。

町はこれまで、有利な財源として様々な起債事業を行ってきた。国の景気対策事業に取り組み積極性は認めるが、九州電力の固定資産税などの減収により大変厳しい財政状況下で、計画的な健全化に向けての対応が必要と考えるがその取り組みは？

また、これまで拠点避難地は現在建設中も含め町内3箇所整備してきたが、今後もこのような起債の事業を行ってゆく予定なのか？



拠点避難地の造成工事状況

町長 平成25年度決算での、4つの健全化判断比率では、いずれも早期健全化判断基準を下回っているが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は前年比2・8%の増となった。

今後も扶助費等の社会保障費や天草広域連合の負担金、など経常経費の増加が予想され、長期的に観測してみても、予算全体に占める割合は上昇傾向であり予断を許さない状況である。

経常収支比率が高くなると財政的に弾力がなく自由に使える予算が少なくなるが、茶北町においては、他市町と比較しても子育て支援や社会福祉施策は充実している。

また、地方債現在高の圧縮は従来からの課題であり、後年度の財政負担を考慮し起債の借入については、公債費の元金償還額を超えない範囲内の借入を続けて来た。

ここ数年、国の経済対策により、本来ならば、通常の交付税措置率が低い起債や、基金を多額に充当しなければならぬ事業を、有利な補正予算債と国の財政措置を伴って実施できた。(避難地や避難地の整備・光回線の整備・藻場造成・笹尾浄水場・志岐小屋内運動場・都呂々港湾改修事業等)。起債残額は増加したが、町にとって必要な事業であり、町政を長期的に捉えると町財政負担は最小限に抑え、最大の事業を行えた事は大きな成果である。

今後も職員が一丸となって対応できる組織作りを進め、有利な補助、交付金、起債制度の活用を積極的に行い、一般財源の縮減に努めたい。

また、津波以外の土砂災害による避難地も考慮し今後も災害に強い町作りを進めて行く。

苓北町の情報開示不足を どうするのか？



野田 謙二 議員

問

今の苓北町は、熊日新聞から情報開示不足であると指摘されている。しかしこれは都市部の基準での評価であり、それが必ずしも絶対に正しい基準とは私も思わない。現に、そのように主張している苓北町民も殆どいない。しかし、この町民の主張にも町政に対する関心が少ないからと考えることもできる。だから、このことにも絶対的な信頼も置けない。そこで私の主観的な主張をさせていただきます。

現在、苓北町はSNSと称されるフェイスブックも利用している。ところが、ホームページにもフェイスブックにも苓北町への移住希望者への情報はどこにも見当たらない。ところが天草市・上天草市のホームページには、どちらもちょうど移住希望者への情報ページが用意されている。これでは熊日新聞から情報開示不足だと指摘されてもしょうがない。

町長

この質問は苓北町役場職員がどれだけ頑張

のため住民のために一生懸命仕事をしていると思う。しかし上記のような事実があるとすることは、何故なのか？予算の問題なのか？指導部の指示が無いからなのか？いやこれはそんな問題ではなく、意識の持ちようでも解決できるのではないかと思う。

実際に苓北町住民とは何処までを意識しているのか？住民票が苓北町にあるのが住民の全てなのか？それだけではなく、近い将来に苓北町に移住する人までも苓北町住民と意識して仕事に当たれば解決できていたのではないかと思う。

事実として役場職員は何処まで苓北町住民と意識して仕事しているのか？加えて今現在、移住者にはどれだけのサービスを用意しているのか？また、これからどこまでのサービスが必要と考えているのか？具体的に聞かせてほしい。

また、熊日から指摘されている情報開示不足だが、これは都市部基準で必ずしも公正とは言えない。アンケートには議会をTV放送しているか？というのがある。やりたいのが見積もってもらったら想像以上に予算が必要となり、まだ出ていない。また、コピー代を徴収することも情報開示不足になる。これであり下位となっている。加えて移住希望者だが、誰でも歓迎と、単純に割り切れない。生活の安定している方や職の当てがあり、ちよつとの支援でもあればやっていける方とか、起業をしてみたいというのは応援したい。

昨年、借家・空き家について調査をした。ある程度の調査を完了したので、今後、借家・空き家の所有者に意向調査をしたいと準備している。また、分譲地に新築される方については、補助金を交付している。交付要件は、町外よりの転入者へは20万円、町外問わず4人以上の家族には10万円、住宅の新築時期が1年以内なら10万円、2年以内は5万円、町内の業者に建設依頼されたなら20万円、建設の一部を依頼したら半額を交付する。内容に関しては、ちよつとケチケチしていると思う。苓北町で頑張っている方々へは、もうちよつと後押策が必要かと思う。次の予算で検討したい。

町財政の展望と課題

町政施行から15期、間もなく60年が経過。このうち、田嶋町長が6期24年にわたり優れた行政手腕を発揮され数々の大事業に取り組んでこられた。反面、釈然としない気掛かりな点もいくつかある。

一般会計
平成12年度と
25年度の決算比較

問

※前質問者との重複部分省略
天草2市9町合併法定協議会当時の資料によると町財政は天草の中では誇れる優等生だった。

先日、新聞報道にて県下45市町村の1人当たり（貯金から借金を引いた額）が示された。それによると、県平均額はマイナス36万9千円、苓北町はその倍近くのマイナス70万2千円でダントツ1位。

ちなみに上天草市はマイナス46万7千円、天草市はマイナス44万2千円とある程度の堅実性が伺えます。

事業をするから借り入れ金が増え、その上国にも金がないからその分まで一時的に町が肩代わりする図式で、心配するのは厳しい国の財政の現状はいつになると改善し、借り入れ分が解消されるのだろうか。

町長

下水道事業には大きな金がかかったが、苓北町は整備済みです。上天草市・天草市はまだこれからです。

問

事業進出に関する協定書の関連について(前号P13参照)
町長は石炭灰をこの事業に取り組み時、九電も進出企業も良いし、町も税収面で良かつですよ！と自信を込めて説明をされていたが、この10年の税収策はどうなっていたのか。

町長

税条例等に基づき平成17年度から固定資産税、法人税(均等割)軽自動車税、間接的には従業員の住民税等の納付がある。税の他にも土地の賃借料納入がある。

問

これまでに何回となく町税収はどうなっているかとたずねると、「初期投資が大きかったの、まだそこまでいかない。」とのことだった。

協定書に「投資金額が約3億4千万円」との記載がある。確かに高額ではありますが、例をあげて考えてみましょう。

前期、町長のマニフェスト一万人構想で財の尾宅地開発を債務負担行為1億200万円で町が平成21年4月に購入した件です。

ACIIを6万1,755・

7㎡を盛土し、使用する灰は8万506・25tでこれに明言された4,600円を乗じると、町が買い受けた土地代の3・5倍を越える3億7千32万円余りになる。

これは九電から進出企業に支払われる産廃処理費で間違いなく企業のお金です。

その後も毎年のようにACIIを大量に使用する工事が行われてきた。

しかしこれらにかかる税金も町税に反映されていないとのこと。

会社案内等によると、平成21年1月に福岡市の方に関連する株式会社を設立してある。このことが町税収に反映されないシステムになっているのではないか。

町長

聞かれている意味がよく分からない。私は会社と税務署が話し合っている状況の中で決まった金額を納めていると思う。ただしそれは今までの税金の控除があるんじゃないかと思いますが、そこで最近になって仕事も少しずつ増えてきてそれを税収が出てきたんではないか

問

現実的には構造材として使用中のACIIの耐用年数をたずねると盛土材には定めがないとのこと。

また土羽ブロック類は一枚当たり鉄筋2本でアンカーさされているが腐蝕の耐用年数も示すべきではないか。

英国の歴史家ジョン・アクトンは「権力は腐敗する。絶対的な権力は絶対的に腐敗する。」と言い、洋の東西を問わず昔からの事象を捉え、後世の教訓として残したと思う。

町長におかれては釈然としないと指摘をされたことにも進んでより詳しい説明をされることを強く期待します。



上津深江拠点避難地

傍聴記



松島輝男 さん
(志岐)

仕事の関係で苓北町に住んで二十余年になります。
町政、議会の活動に興味を持っておりまして。これまでも、議会の傍聴をと考えておりましたが、議会の開催が平日のしかも、九時からということ、仕事の関係でその機会がありませんでした。
今回仕事が終わったということ、来月に町長、町議の選挙があるということで、生の町長の施政方針、町議の町づくりへ取り組み姿を見てみたい、聞いてみたいということで傍聴に出席しました。

二日間出席しました。一日目は一般質問でした。議員十二人中、六人が質問をされました。入口に資料が置いてありました。各議員は、地元の土地崩落の対応。町の財政運営、展望と課題。過去の事業を踏まえた二十七年度予算策定。川内原発の安全対策。同発電所の稼働。移住希望者への対応。についてそれぞれ二十分から一時間かけて町長と真摯な問答が行われました。分かりやすい質疑応答もありましたが、理解しにくいものもありました。

いずれにしても、町政執行への賛否は別にして、数年前町議に立候補された時の各々の思いと考えが反映されたものだったと理解します。

ただ、十二人のうち六人しか質問をされませんでした。一般質問の発言者数に制限があるのか存じませんが、これは、町の取り組みを尋ねる貴重な時だと思えます。次の町議選を控え、もっと積極的な議会活動をすべきだったのではないかと考えます。今後に期待します。

新年を迎え、一年で一番寒くなります。町長はじめ役場職員皆さん、そして議員の皆さんご自愛ください。



大仁田藤男 議員

① 苓北町の財政状況は？

町財政の現状と今後の方針は機会を捉えて説明する。

② 原子力発電再稼働について

専門家による安全性の確認等条件が整えば再稼働してもらいたい。

① 苓北町の財政状況について

問 熊本県内45市町村の平成25年度決算状況が新聞報道された。報道では、普通会計の地方債残高から積立金残高を差し引いた借金が、苓北町では県全体の差引額36万9千円の約2倍の70万2千円。将来負担すべき負債を見込んだ将来負担率は、市町村平均の48・2％に対し124・2％となっている。町民の苓北町財政の将来に対する不安の声がある。皆さんに分かりやすい財政状況説明と今後の財政方針を尋ねる。

町長

この件は本日他の3議員からの質問に、私は心配していない、しかし、努力の必要は相当ある。住民に必要な社会資本整備はしっかりとやっていかねければならないが、財政との見合わせが大事になってくる。そういった観点で今後財政運営をやること答弁した。

再質問

平成23年～25年の3年間の単年度収支報告

(広報はいく10月号)では、全て黒字決算となっている。町民は新聞報道との違いに戸惑い、どちらが実状か、苓北町の財政は大丈夫かとの声がある。上・下水道や光ファイバーなどインフラ整備時の借金の積み上げが町民一人あたり70万円、これには後年度に全額補填される臨時財政対策債も含まれているなど内容説明が必要である。しかし、現在70万円の借金があるのも事実、財政運営をしっかりと願う。

町長

臨時財政対策債は他市町村でもある、国の交付税の肩代わりで借金するが、後年度利子元金含めて100％国が補填してくれる。事業によって補助率が異なる。今後も、必要があれば機会を捉えて、町の財政状況、今後の財政方針等について説明していく。

② 原子力発電再稼働について

問

先に想定外を超越した東北地震および津

波襲来による福島第一原発の事故、それに伴う放射性物質の拡散により全国48基の原発が停止した。事故から3年、国のエネルギー政策は定まらず責任を電力事業体に押し付けてきた。そのため各電力会社は燃料費増大(3年間で3・6兆円)などで経営難に陥った。九電の赤字は3年間の累積で7千億円、現在も継続中。これまで資産の売却・社員ボーナス(4期連続)無支給や賃金水準引き下げなどの経営努力を重ねてきたが、企業努力も限界にきている。苓北町内には社員の親御さんや関連企業の従業員も大勢おられ、このままでは大変心配との声を聞く。10月末に薩摩川内市、11月には鹿児島県知事が立地自治体として理解を示し、川内原発1・2号機再稼働に同意された。九電株主、また、電気のみならず苓北町としての町長の原子力再稼働に対する考えを尋ねる。

町長

原子力が停止し、電力の安定供給のため全国

油火力や天然ガス発電を稼働する中、非常な経営難に陥っている。国は原発が絶対安全だと言われない状態で再稼働が進められようとしている。しかし、安全だということを専門家が認められたならば、再稼働に向けた準備をするべきと思っている。

川内原発は安全性の確認を規制委員会から出された後に住民の方々の意見を聞かれた。住民からも大方GOサインが出たわけなので、後はもう一度安全性を確認する作業が残っていると思う。安全性をしっかりと点検した中で、それが合格をすれば是非稼働していただきたい。しかし、その条件は絶対ということが無いわけなので、何かあった時の地域住民や被害を蒙るであろうという我々の地域も含めて、避難計画など安全面の指導・支持をしていただきたい。また、老朽化した原子炉は再生エネルギーや石炭火力などにどんどん置き換えていく、このような条件が整えば是非稼働してほしいと願っている。

関東ふるさと苓北会総会開催 話題は思い出や近況など

「泊 天草洋」を広め隊 Ⅱ吟者Ⅱ中村 観藍(陽子)さん披露

11月23日、東京霞ヶ関、東海大学校友会館において、「関東ふるさと苓北会」総会及び懇親会が、会員並びに天草郷友会皆様など170人の参加のもと盛大に開催され、苓北町から田嶋町長、議会からも議長他2人、計7人が出席しました。総会は、池崎健介地区担当の司会で始まり、大仁田淳会長より、就任一年の活動状況と来年20周年大会に向けた抱負が述べられました。その後、執行部より会務・会計監査報告があり、異議無く承認されました。

また、挨拶で田嶋町長から地方や当町の人口の減少と対応、大都会の老人福祉施設入所待機者の地方での受け入れ等について、倉田議長から「長崎教会群関連と天草崎津集落」の世界文化遺産推薦を機に町の歴史的遺産を活かした観光促進など、それぞれ話がありました。

二部の懇親会では、「関西ふるさと苓北会」の中村陽子幹事が頼山陽先生の「泊天草洋」を詠われ、会場を盛り上げていただきました。

この他、還暦並びに喜寿者へお祝いの贈呈、カラオケ大会、ふるさと物産品が当たる福引会、地元三中学の校歌斉唱など、当時は想い浮かべ談笑の一時を過ごしました。



懇親会交流風景

